



平成30年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 マサル
 コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅谷 純
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 雅広
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3643-5859

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	5,002	7.7	86	72.9	90	71.9	84	38.9
29年9月期第3四半期	5,416	1.7	318	34.1	319	38.0	137	1.3

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 63百万円 (58.9%) 29年9月期第3四半期 153百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	96.68	
29年9月期第3四半期	153.08	

(注) 当社は、平成30年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	7,813	3,406	43.6
29年9月期	7,915	3,527	44.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 3,406百万円 29年9月期 3,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		16.00	16.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成30年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を記載しない場合の平成30年9月期(予想)の1株当たり期末配当金は15円00銭となります。

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	6.9	310	28.1	310	32.6	200	7.7	222.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成30年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年9月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	901,151 株	29年9月期	901,151 株
期末自己株式数	30年9月期3Q	39,756 株	29年9月期	2,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	869,002 株	29年9月期3Q	898,493 株

(注)当社は、平成30年4月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における建設業界は、引き続き建築工事等の受注高が対前年比緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、その多くを首都圏における大型再開発プロジェクト等が占めているため、業界内での景況感に温度差が生じている他、労務逼迫や建設技能者の処遇改善、働き方改革によるコスト上昇の懸念があり、先行きの不透明感が払拭できない状況にあります。

このような事業環境の中、当社は採算性に留意しつつ、大型再開発工事や東京五輪関連施設工事を積極的に受注した他、改修工事や直接受注工事の受注増強にも注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は78億57百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。売上高につきましては、50億2百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。利益につきましては、低採算案件の完工が先行している影響があり、営業利益は86百万円（前年同四半期比72.9%減）、経常利益は90百万円（前年同四半期比71.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設工事業)

売上高は46億53百万円（前年同四半期比5.4%減）となり、セグメント利益は66百万円（前年同四半期比73.2%減）となりました。受注高につきましては、71億12百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

(設備工事業)

売上高は3億56百万円（前年同四半期比29.0%減）となり、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比72.1%減）となりました。受注高につきましては、7億45百万円（前年同四半期比37.7%増）となりました。

なお、当社グループは、完成工事物件の引渡し第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中するため、四半期連結会計期間の売上高には季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は64億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円減少いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金が減少したことによるものであります。固定資産は、13億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億90百万円増加いたしました。

この結果、総資産は78億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は39億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主に未成工事受入金が増加したことによるものであります。固定負債は、4億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は44億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は34億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は43.6%（前連結会計年度末は44.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月7日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,911	1,282,744
受取手形・完成工事未収入金	1,935,669	776,911
電子記録債権	506,565	546,364
未成工事支出金	2,733,027	3,447,033
材料貯蔵品	8,948	8,585
その他	277,437	372,486
貸倒引当金	△1,180	△626
流動資産合計	6,826,378	6,433,499
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	56,188	80,771
土地	447,020	447,020
建設仮勘定	106,693	451,596
その他(純額)	7,521	6,467
有形固定資産合計	617,424	985,856
無形固定資産		
ソフトウェア	25,621	22,860
無形固定資産合計	25,621	22,860
投資その他の資産		
投資有価証券	96,043	21,710
長期貸付金	17,355	15,600
その他	405,472	406,390
貸倒引当金	△72,358	△72,357
投資その他の資産合計	446,511	371,343
固定資産合計	1,089,557	1,380,060
資産合計	7,915,935	7,813,559

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	721,215	773,481
電子記録債務	243,803	300,429
短期借入金	25,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	522,559	295,643
未払法人税等	36,384	—
未成工事受入金	1,878,106	2,159,321
賞与引当金	104,313	33,779
役員賞与引当金	45,000	—
完成工事補償引当金	15,290	14,335
工事損失引当金	70,307	9,852
その他	163,107	279,188
流動負債合計	3,825,087	3,916,032
固定負債		
長期借入金	501,614	438,658
その他	61,297	52,108
固定負債合計	562,911	490,766
負債合計	4,387,998	4,406,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,261,600
利益剰余金	1,363,901	1,375,779
自己株式	△4,916	△117,151
株主資本合計	3,506,281	3,405,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,655	835
その他の包括利益累計額合計	21,655	835
純資産合計	3,527,937	3,406,760
負債純資産合計	7,915,935	7,813,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
完成工事高	5,416,957	5,002,258
完成工事原価	4,432,616	4,209,580
完成工事総利益	984,341	792,677
販売費及び一般管理費	665,939	706,532
営業利益	318,401	86,144
営業外収益		
受取利息	268	221
受取配当金	2,362	1,414
受取賃貸料	2,699	2,326
助成金収入	2,957	240
その他	1,592	5,787
営業外収益合計	9,879	9,989
営業外費用		
支払利息	6,616	3,797
その他	1,794	2,304
営業外費用合計	8,411	6,101
経常利益	319,869	90,032
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,810
特別利益合計	—	34,810
特別損失		
固定資産除却損	11,458	—
減損損失	97,430	—
特別損失合計	108,888	—
税金等調整前四半期純利益	210,981	124,843
法人税、住民税及び事業税	46,009	3,589
法人税等調整額	27,434	37,241
法人税等合計	73,444	40,830
四半期純利益	137,537	84,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,537	84,012

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	137,537	84,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,398	△20,819
その他の包括利益合計	16,398	△20,819
四半期包括利益	153,935	63,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,935	63,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。